



令和5年11月13日

各位

会社名 近鉄グループホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 都司 尚
(コード：9041 東証プライム市場)
問合せ先 経理部長 磯川 直之
(TEL. 06-6775-3465)

連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

令和5年6月2日に公表いたしました令和6年3月期(令和5年4月1日～令和6年3月31日)の第2四半期(累計)連結業績予想と本日公表の実績の間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 令和6年3月期第2四半期(累計)連結業績予想との差異(令和5年4月1日～令和5年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	881,000	33,000	28,000	15,000	78.87
実績値 (B)	803,623	43,060	40,509	23,858	125.45
増減額 (B-A)	△77,376	10,060	12,509	8,858	—
増減率 (%)	△8.8	30.5	44.7	59.1	—
(参考)前期第2四半期実績 (令和5年3月期第2四半期)	623,066	13,076	21,920	61,321	322.43

(注) 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前期第2四半期実績につきましては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の数値を記載しております。

2. 差異の理由

営業収益につきましては、国際物流業で貨物の取扱物量が減少しているほか、価格競争の激化により販売価格も下落しているため、運輸業、流通業およびホテル・レジャー業で新型コロナウイルス感染症の影響が縮小して人流が増加したほか、入国制限の撤廃によりインバウンド需要が持ち直しており予想を上回りましたものの、全体では前回発表予想を下回りました。

一方で、営業費用におきまして、運輸業のうち鉄軌道部門で動力費の電力単価が想定を下回ったほか、各事業でコスト削減に努めたことに加え、不動産業でマンション分譲の利益率が向上したこともあり、営業利益以下の各段階利益は前回発表予想を上回りました。

以上